



# 新しいSciValのご紹介

～ URAにとって使えるツールか？ ～

リサーチ・アドミニストレーション研究会 2013年度大会 ランチョンセミナー

2013年11月19日(火)  
エルゼビア・ジャパン株式会社  
プロダクト・マネージャー  
柿田佳子(y.kakita@elsevier.com)



# 背景

## 研究マネジメントツールを使う際の課題



## エルゼビアが重視していること

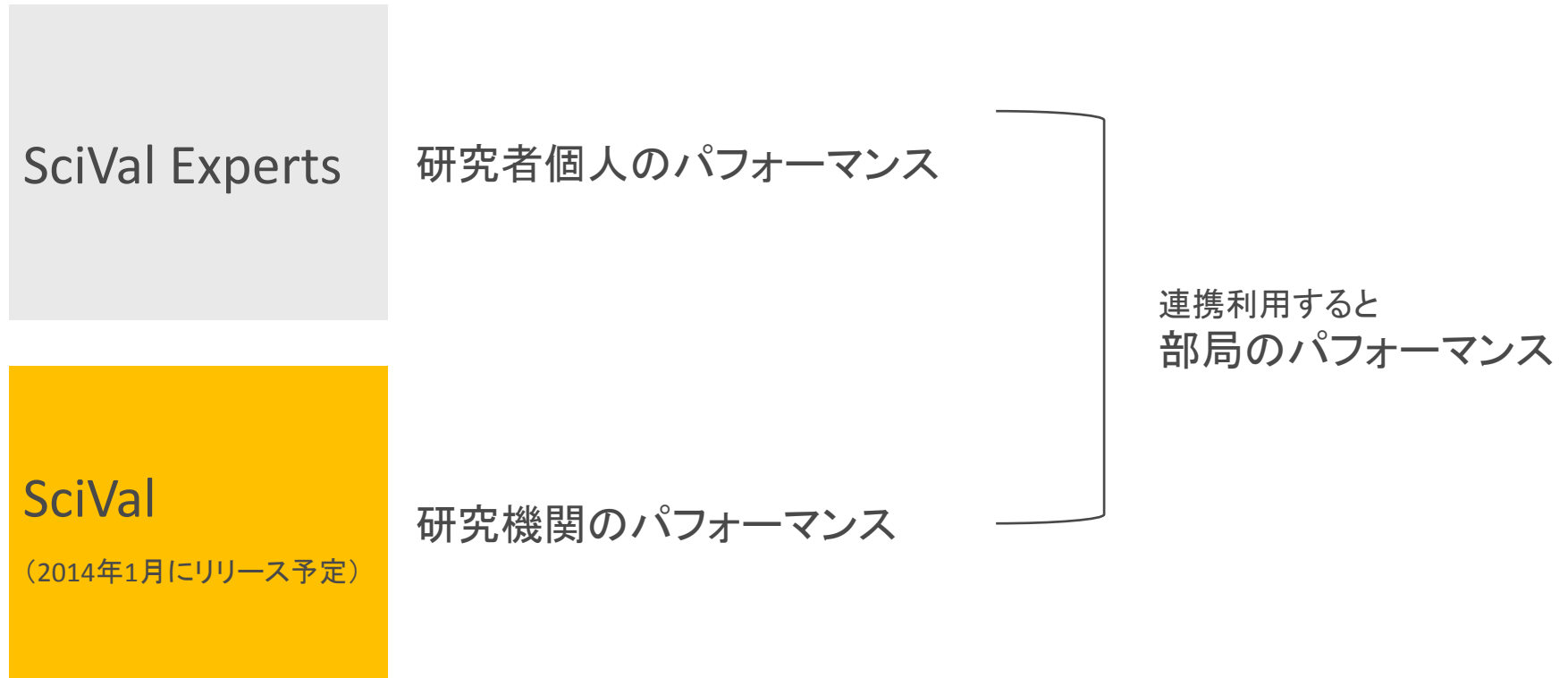
エルゼビアの  
研究マネジメントツール



アクションにつながる客観的データを  
取得できることを重視して開発

# SciVal製品

SciVal製品は、研究パフォーマンスを把握するための客観的データを、研究者個人・部局・研究機関レベルで取得できる、研究マネジメントツールです。



# Scopus: 世界最大規模の抄録・引用文献データベース

SciVal、Scival Expertsとともに、Scopusがデータソースとなっています。Scopusは、世界最大規模の抄録・引用データベースです。

## Scopusとは:

### コンテンツ

収録範囲が広く、日本国内ジャーナルも多く含んでいます。

- 科学・技術・医学・社会科学・人文科学分野の学術ジャーナルを一括提供する、All-in-oneパッケージです。
- 5,000以上の出版社から発行される、21,000誌以上を網羅しています。
- プロシーディングも収録しています。
- 日本国内ジャーナル400誌以上を含みます。
- ブックや会議録のコンテンツ拡張を2013-2014年に予定しています。
- 遡及年はジャーナルによって異なりますが、最古は1823年(Lancet)です。

### 引用情報

過去17年以上の引用情報をもとに、研究評価・分析が可能です。

- 1996年以降の引用情報を提供します。

# 概要

2014年から販売開始となる、新しい研究マネジメントツールです。3つのモジュールで構成されます。

約4,600研究機関および約220の国と地域について、様々な切り口で研究パフォーマンスに関するデータを取得できます。

1

## Overviewモジュール

その時々ニーズにあわせて、研究領域や研究チームを自由に作成できます。

SciVal Expertsと連携して利用することで、部局単位での把握も容易になります。

2

## Benchmarkingモジュール

20個以上の評価指標に基づいて、研究領域、研究機関、国等を対象にベンチマークできます。研究パフォーマンスの相対的な把握に適しています。

3

## Collaborationモジュール

論文の共著情報に基づいて、既存の研究ネットワーク状況を可視化します。共同研究を大学として戦略的に支援するための客観的データを取得できます。

# Overview モジュール

研究機関や国の研究パフォーマンスを客観的データで把握します。SciVal Expertsと連携して利用することで、部局単位での把握も容易になります。

SciVal トップページ(大学全体)

Home Performance Overview Benchmarking Collaboration Analysis My Stuff

Performance overview for:

**University of Cambridge**

United Kingdom | Scopus affiliation ID: 60006257... Show all

Source: Scopus data up to 11 Sep 2013 | 2008 to 2012 | no filter selected


Overview Publications Citations Collaboration Competencies

**Overall research performance** Export Short

Publications	Authors	Citations	Citations per Publication
40,622 ▲	20,432 ▲	501,058	12.3

[View list of publications](#)

**Performance by Research Area** Short

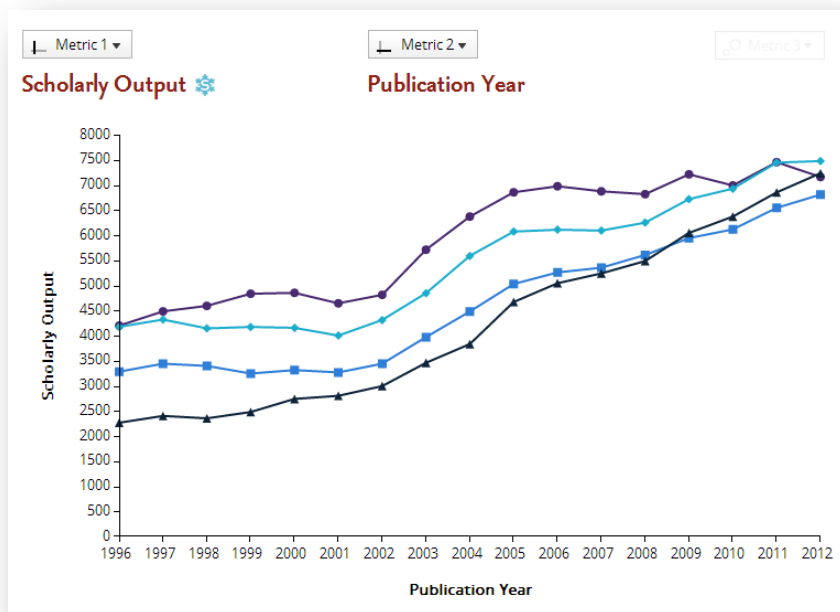
 **Create a new Research Area**

You can create custom **Research Areas** that are relevant to the University of Cambridge.

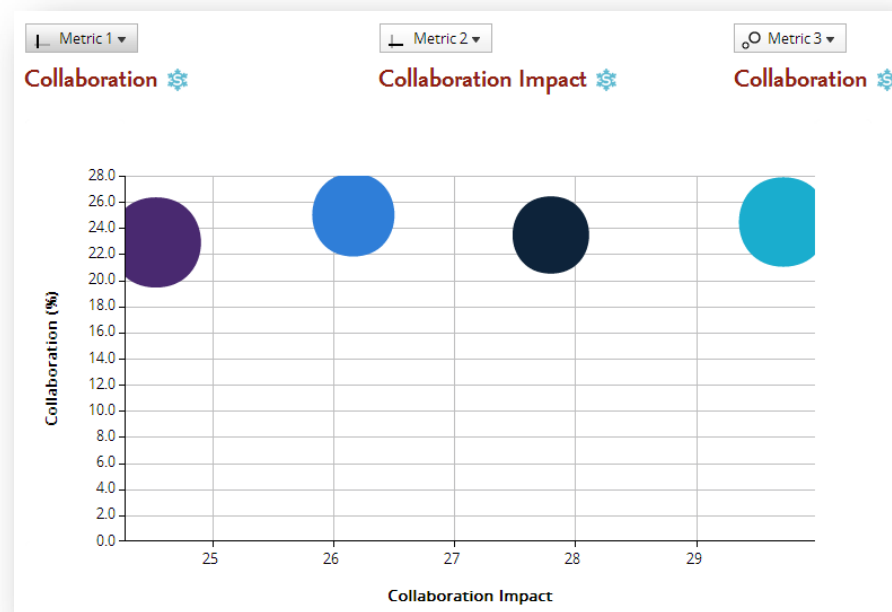
# Benchmarking モジュール


研究力を相対的に把握するためのベンチマーク機能です。その時々ニーズにあわせて指標を選んでグラフ化します。研究機関どうしのベンチマークにくわえて、自分で作成した研究領域や研究チーム間のベンチマークも可能です。

## 例1



## 例2



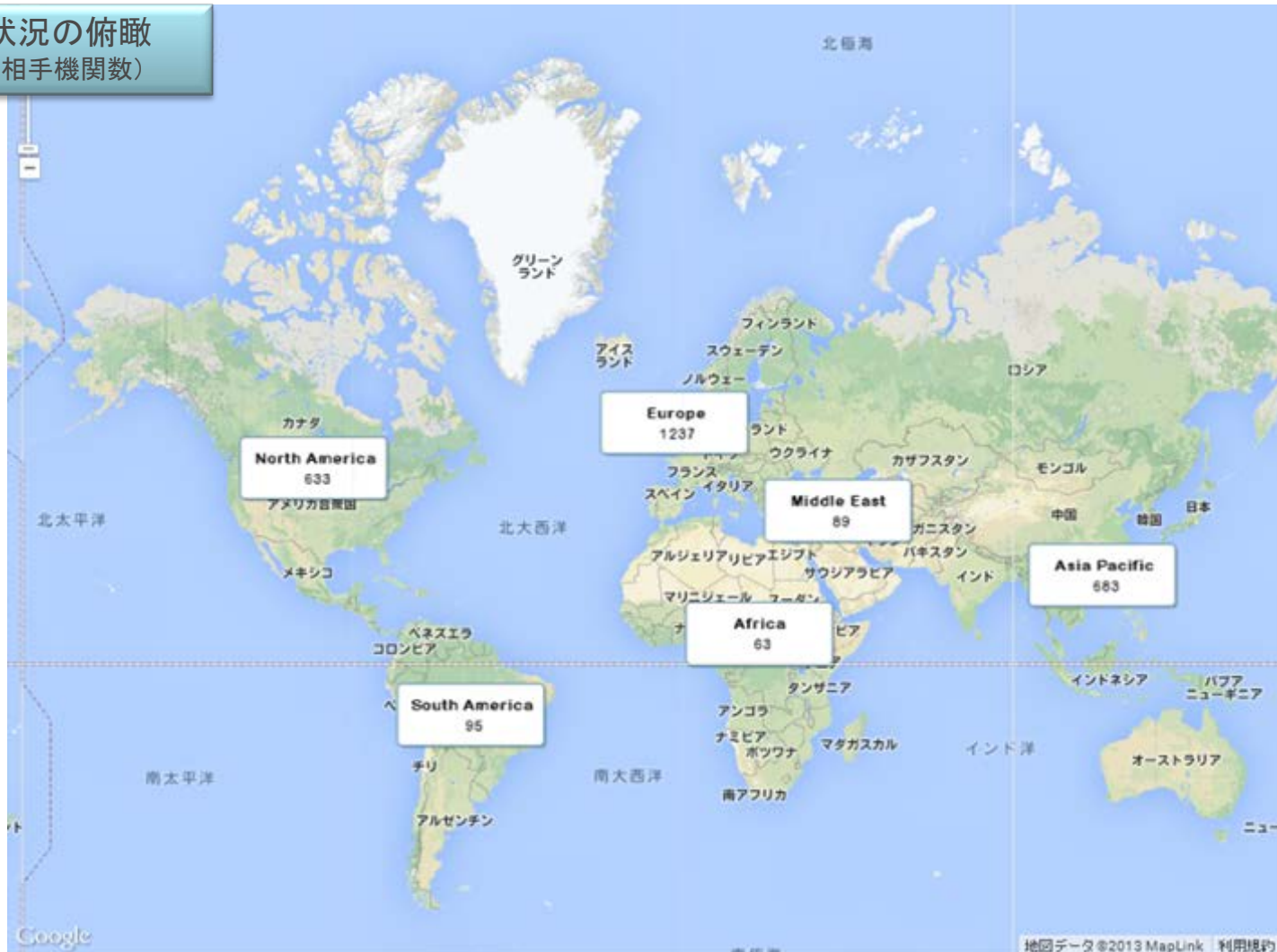
 は、Snowball Metricsを示しています。英国の8大学とエルゼビアが共同で実施したSnowballプロジェクトの結果、策定された評価指標の総称です。

(University of Oxford、University College London、University of Cambridge、Imperial College London、University of Bristol、University of Leeds、Queen's University Belfast、University of St Andrewsの8大学にくわえて、Department for Business Innovation & Skills (BIS)とHigher Education Statistics Agency (HESA)が協力機関となっています。)

# Collaboration モジュール

論文の共著関係に基づく共同研究の状況を詳細に把握できます。既存の学術協定の検証や、新たな協定先候補の選定など、連携の戦略的支援に活用できるデータを取得できます。

共同研究状況の俯瞰  
(数字は共同相手機関数)





# まとめ

## エルゼビアが重視していること

---

エルゼビアの  
研究マネジメントツール



アクションにつながる客観的データを  
取得できることを重視して開発

## SciValの特徴

---

- 分析対象の広さ  
教員の論文を出来るだけ多く分析の対象にできるので、「本当の研究力」により近いデータに基づいてアクションを取ることができます。
- 柔軟性が高い  
ニーズにあわせて研究領域や研究チームを作成し、どこに自大学の優位性があるか、細かく見ていくことができます。
- 簡単！